

令和6年度入学試験問題（学校推薦型選抜）
小論文
初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム
解答例（あるいは出題の意図）

〔1〕

（問1）（解答例）スマホの直接的な学習妨害の一つはノートを取らないこと，もう一つはスマホ使用により脳が学習に集中することよりも，報酬がないことを無視するのに貴重な処理能力を費やすことである。間接的な学習妨害は，スマホによる眠りの悪化による睡眠不足，座りっぱなしになることによる運動不足である（137文字）。

ねらい：本文より，児童が直接的におよび間接的に受ける学習妨害を簡潔にまとめることができるかを問う問題である。

（問2）児童が受けるメリット・デメリットとして以下が考えられる。

メリットとしては…

- ①画像や動画の活用により，学習意欲と効率が向上する。
- ②受け身ではなく主体的・協同的な授業を行いやすくなる等，生徒の学習意欲が向上する。
- ③タブレット端末の操作などIT機器の知識やスキルを取得できる。
- ④必要な情報を取捨選択し活用する力を鍛える効果が期待できる。

デメリットとしては…

- ①わからない問題の答えが，インターネットですぐに分かるため，児童が自分自身で考える力，粘り強く取り組む力が鍛えづらい。
- ②児童が見るには不適切な情報が存在する。有害な情報に子どもが触れることで，トラブルに巻き込まれる可能性がある。
- ③スマホやタブレットを長い時間見ることは，目が疲れる原因になり，視力低下や姿勢の悪化が懸念される。
- ④筆記によりノートをとらなくなる。

ねらい：ICT環境整備の充実による教師側のメリット・デメリットではなく，学ぶ側である児童が学習活動で受けるメリット・デメリットに関する理解度を問う問題である。